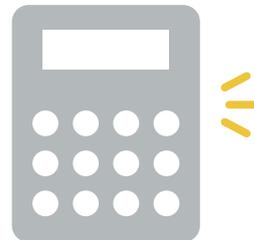


決算状況をお知らせします

図財政課 ☎086-803-1146



市では、積極的に行政改革を進めてきた結果、**財政指標は総じて健全に推移**しているところです。
今後も「岡山市第六次総合計画」に基づく政策を推進し、基本目標「未来へ躍動する 桃太郎のまち岡山」の実現に向けた都市の持続的な発展を財政面で支えていく必要があります。

しかし、人口減少、少子高齢化の進行に伴う社会保障関係費の増加や公共施設などの老朽化への対策に加え、激甚化・頻発化する自然災害への対策、子ども・子育て施策の強化、地域社会のデジタル化や脱炭素社会の実現に向けた取り組みなど、さまざまな財政需要が増える一方で、市税収入などの一般財源の動向は見通しが定かではありません。

このような状況に対応するため、引き続き行政改革を推進し、将来世代に負担を先送りしないために、財源調整のための基金の残高を一定程度保ち、市債の残高や指標にも留意しつつ、**財政運営の健全性を確保した上で、市民福祉の向上とまちの発展を実現していきます。**

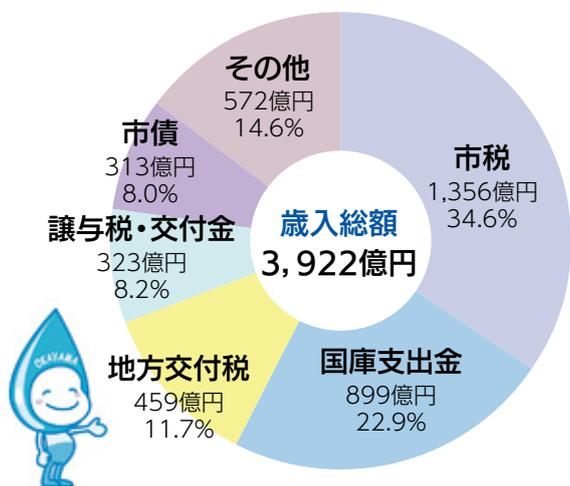


市の会計は、基本的な経費を管理する「**一般会計**」と、特定の事業を管理する「**特別会計**」や「**事業会計**」で構成されています。ここでは、地方公共団体同士を比べるために用いる「**普通会計**」について**決算状況のあらましを説明**します。

普通会計の歳入歳出

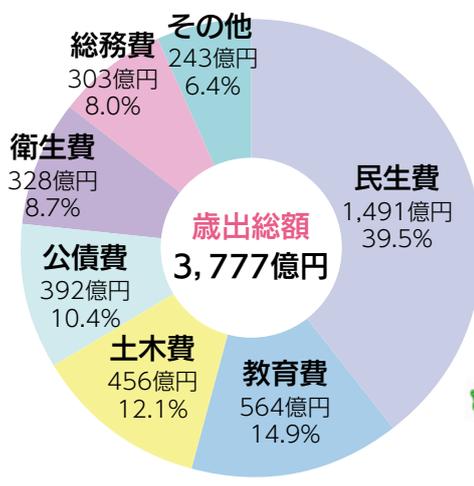
歳入

令和5年度の歳入決算額のうち、市民の皆さんに納めていただいた市民税・固定資産税などの**市税収入は、1,356億円で歳入全体の34.6%**を占めています。

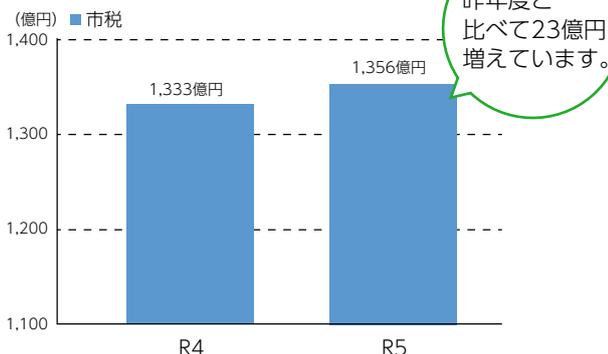


歳出

令和5年度の歳出決算額を目的別に分類すると、**福祉のための経費である民生費が39.5%と最も多く**、続いて教育費が14.9%、土木費が12.1%、公債費が10.4%となっています。



市税収入



歳入歳出決算額の推移

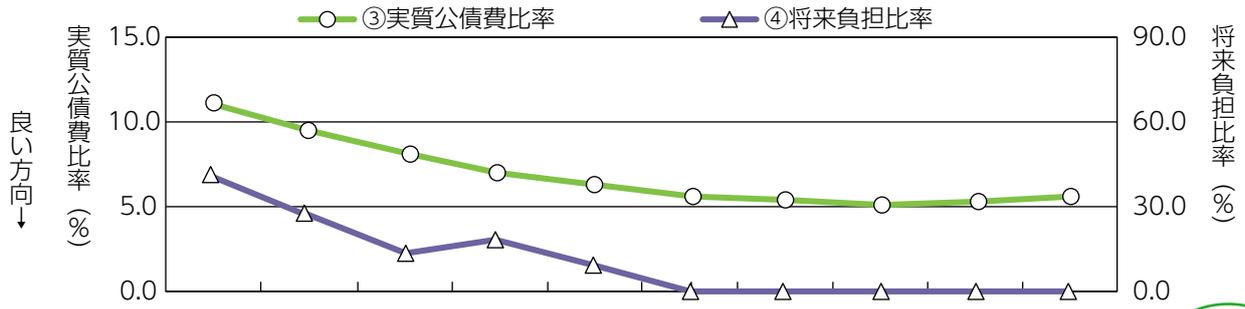




健全化判断比率4指標などの推移



「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、財政の健全性に関する比率を公表しており、岡山市は令和5年度決算において**健全化判断比率4指標および資金不足比率の全ての基準をクリア**しています。



	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
①実質赤字比率	- ※1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
②連結実質赤字比率	- ※1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
③実質公債費比率	11.0	9.5	8.1	7.0	6.3	5.6	5.4	5.1	5.3	5.6
④将来負担比率	43.4	27.7	13.5	18.3	9.3	- ※2	-	-	-	-
⑤資金不足比率	- ※1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

健全な財政状況です。

(※1) 実質赤字、連結実質赤字、資金不足額がないため「-」と記載
(※2) R1以降の将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回るため「-」と記載

指 標		説 明	早期健全化基準	財政再生基準
判 断 比 率	実質赤字比率	一般会計等を対象とした実績赤字額の標準財政規模に対する比率	11.25%	20%
	連結実質赤字比率	全会計を対象とした実質赤字額（または資金の不足額）の標準財政規模に対する比率	16.25%	30%
	実質公債費比率	一般会計等が負担する元利償還金および準元利償還金の標準財政規模に対する比率	25%	35%
	将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	400%	
資金不足比率		公営企業ごとの資金不足額の事業規模に対する比率	20% ※3	

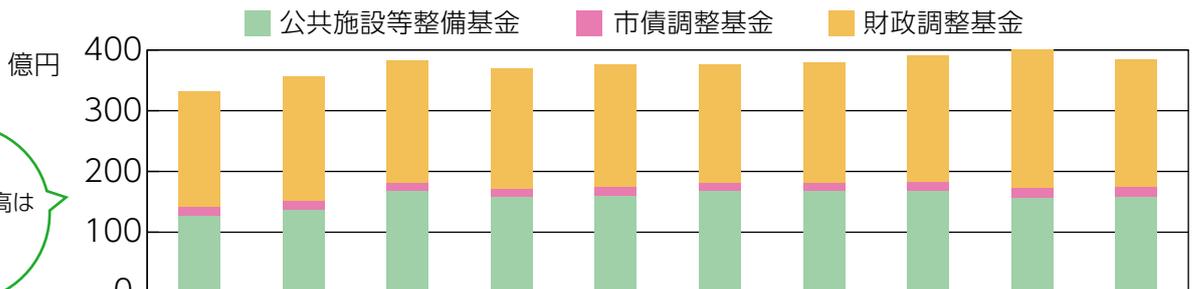
(※3) 経営健全化基準の基準値



財源調整のための「基金」残高の推移



令和5年度末基金残高は、令和4年度決算の剰余金積み立てなどを行った一方で、社会保障関係費の増加や公共施設の老朽化対策、また物価高騰対策などへの対応として取り崩しを行った結果、384億円となっています。



長期的にみても残高は安定しています。

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
財源調整のための基金	332	356	383	369	376	376	380	390	401	384
財政調整基金	190	204	201	197	201	194	198	207	228	210
市債調整基金	14	14	14	14	14	14	14	15	15	16
公共施設等整備基金	128	138	168	158	161	168	168	168	158	158



詳細は、HP内「令和5年度決算（案）の概要」、
「岡山市の財政状況[第26版]」をご確認ください。



「宝くじ」は身近なまちづくりに役立てられています。
県内で販売された宝くじの収益金は、県および市の収入になります。

宝くじは、
岡山県内で
買ってね！

